

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (38,000 円) 上記は2024 年 1 月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5 年用 11,000 円 / 10 年用 16,000 円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には2024 年 10 月 24 日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2 週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 45,000 円 (ホテルは基本 2 名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2024年1月1日現在を基準としています。

- 旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
- <取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
- <解除時期・取消料>

契約の解除期日	
41日目にあたる日以前の解除	無料
31日目にあたる日以前の解除	旅行代金の10%
30日目にあたる日以降の解除	旅行代金の20%
2日目にあたる日以降の解除	旅行代金の50%
当日の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
 - ①企画手配料金および手配料金
 - ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金
 - ③宿泊費: 下記ホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) の基本宿泊料および税、サービス料 ルアンパバーンニマンラックホテル、サムアアニザイファスクホテル、ヴィエンチャンニヴィエンチャンプラザホテル、ハノイニパオンインターナショナル ホテル (基本2名一室)
 - ④食事代: 朝食5回/昼食5回/夕食6回
 - ⑤見学施設の入場料
 - ⑥現地協力者の謝礼・同行費用
 - ⑦講師謝礼・同行費用
 - ⑧添乗員1名同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
 - ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ②渡航手続諸費用: パスポート申請代
 - ③超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
 - ④個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
 - ⑤航空会社が課す 成田空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃(38,000 円)2024 年 1 月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
 - ⑥お一人部屋料金: 45,000 円
 - ⑦日本国内の交通費、前泊の費用
 - ⑧海外旅行傷害保険料

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

株式会社 富士国際旅行社 〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
henshu@fits-tyo.com 担当: 西須・金光・山田

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円** (旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。 ⑤出発2週間前に旅行説明会を行います。

き・り・と・り
2024年4月24日(水) 発

参加予約票 中村梧郎さんと行く ラオスの少数民族の村・解放記念日をハノイで過ごす旅

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生れ () 才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】 () - -	【fax】 () -		
	【携帯】 - -			
	【e-mail】			

中村梧郎さんと行く "旅" シリーズ

ラオスの少数民族の村・解放記念日をハノイで過ごす

2024年
第1弾

旅行期間 **2024年 4月24日(水)～5月1日(水) 8日間**

旅行代金 **395,000円** ※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料38,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員 **25名様** (最低実施人員15名)

申込締切 **3月22日(金)** **添乗員** 成田空港から同行します。

Profile

中村 梧郎さん
(なかむら・ごろう フォトジャーナリスト)



1940年生まれ長野県出身。前・岐阜大学地域科学部教授(メディア論、環境論)、70年代初めからベトナム戦争を取材、74年以降枯葉剤問題を検証。テレビ朝日の報道番組ザ・スクープでもダイオキシン汚染とごみ問題などを取り上げ解説してきた。現在は敬愛大学環境情報研究所客員研究員、現代写真研究所講師、日本写真家協会会員、日本ジャーナリスト会議(JCJ)代表委員。1983年NIKON第8回伊奈信男賞、96年日本ジャーナリスト会議特別賞、2006年第1回日本科学技術ジャーナリスト(JASTJ)賞を受賞。著書に「戦場の枯葉剤」(岩波書店)、「新版・母は枯葉剤を浴びた」(岩波現代文庫)、「環境百禍」(コープ出版)など。

旅のポイント

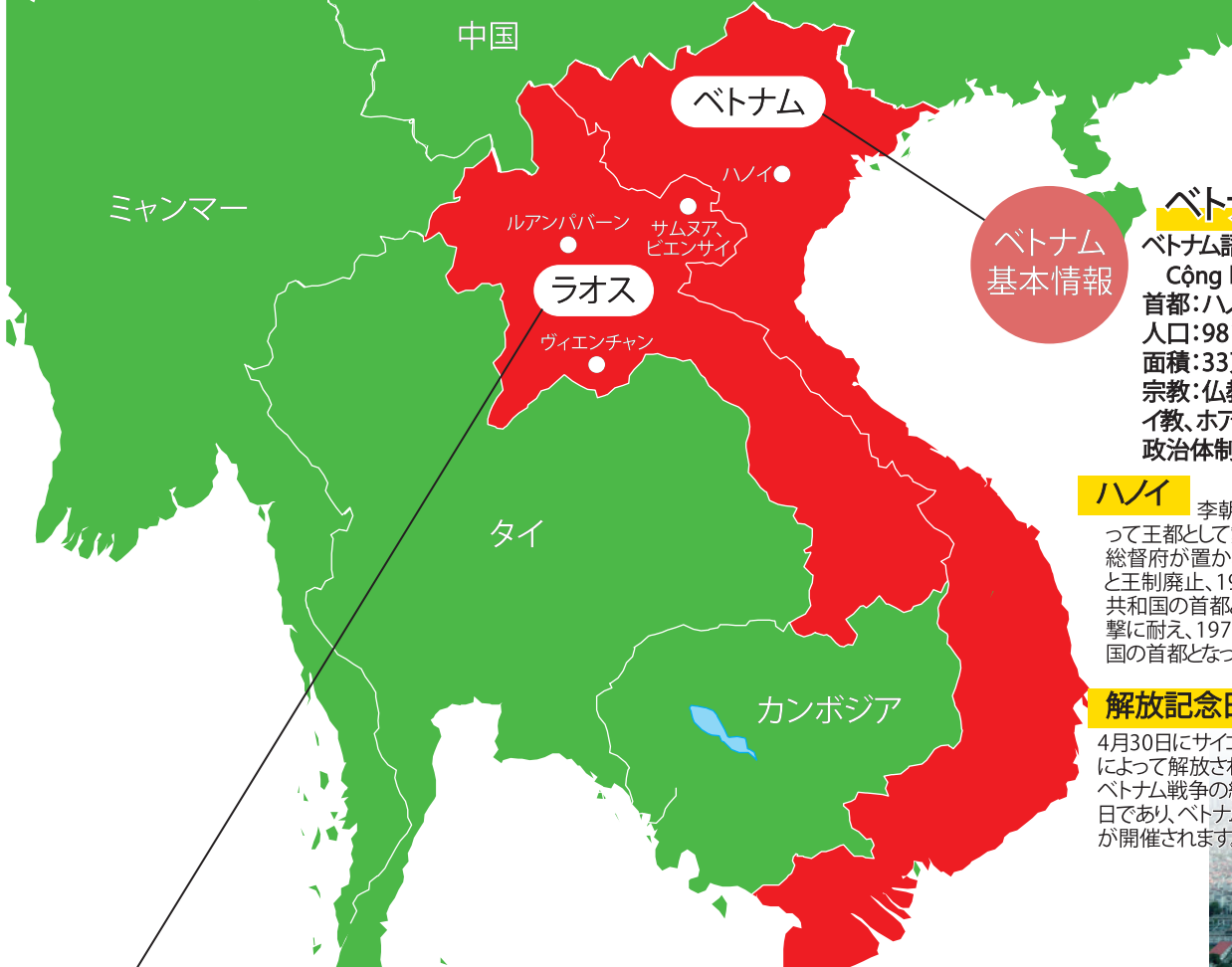
- 中村梧郎さんが当時取材したビエンサイを訪れ、ベトナム戦争やラオス独立運動について学びます。
- ベトナムの特別な日である「解放記念日」(4月30日)を首都ハノイで過ごし、現地の様子を体感します。
- 少数民族の村を訪れ、ラオスの文化や料理もお楽しみください。

※写真は全てイメージです

旅行企画・実施

Peace Green Humanity
(株) 富士国際旅行社

観光庁長官登録旅行業第84号・JATA正会員



ベトナム社会主義共和国

ベトナム 基本情報

ベトナム語: **Cộng hòa Xã hội chủ nghĩa Việt Nam**
 首都: ハノイ 公用語: ベトナム語
 人口: 9818万6千人 (世界年鑑2023)
 面積: 33万1317km²
 宗教: 仏教 (大乘仏教が主)、南部にカオダイ教、ホアハオ教、カトリックは人口の約6%
 政治体制: 社会主義共和体制

ハノイ

李朝が11世紀に遷都し、約800年にわたって王都として繁栄しました。仏領インドシナ時代には総督府が置かれ、植民地支配の中心地。日本支配と王制廃止、1945年の独立宣言によりベトナム民主共和国の首都となりました。ベトナム戦争で米軍の爆撃に耐え、1976年に成立したベトナム社会主義共和国の首都となっています。

解放記念日

ベトナム解放記念日は、1975年4月30日にサイゴン(現ホーチミン市)が北ベトナム軍によって解放されたことを記念する祝日です。この日はベトナム戦争の終結と国の再統一を象徴する重要な日であり、ベトナム全土で軍事パレードや文化イベントが開催されます。

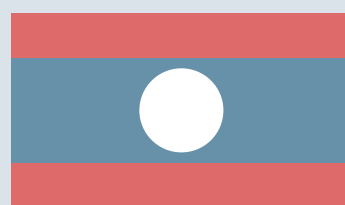


Laos 神秘の国、ラオスを訪ねてみませんか

ベトナムとともにアメリカと戦い、1975年に真の独立を実現した小さな国ラオス。700万人ほどの住民が、日本の本州ほどの広さの高地に住んでいます。周辺の国々では少数民族と呼ばれるラオ族、タイ族、モン族、アカ族などの人々の国家です。伝統的な刺繍や織物で仕立てた民族衣装は目を見はるほどきらびやかです。

戦争中、ラオス王家の一員だったスファヌボン殿下やポンピチット殿下は北東部サムヌアの洞窟に身を隠し、米空軍の爆撃を避けながらラオス愛国戦線(パテト・ラオ)のリーダーとして抗米戦争を指導しました。ラオス国民の「聖地」となっているそのサムヌアに、今は空路で訪れることができます。

首都ビエンチャンはタイとの国境を流れるメコン川に沿って築かれています。そこから少し北上すると、王宮のあるルアンパバーンがあります。美しい都です。食べ物は自然食で美味しく、観光地としてはまだあまり知られていない不思議の国ラオスです。一緒に足を踏み入れてみましょう。(中村 梧郎)



ラオス人民民主共和国

ラーオ語: ສາທາລະນະລັດ ປະຊາທິປະໄຕ ປະຊາຊົນລາວ
 首都: ヴィエンチャン 面積: 23万6800km²
 公用語: ラーオ語 宗教: 多くは仏教、精霊信仰なども残る
 人口: 752万9千人 (世界年鑑2023) 政治体制: 人民民主共和制 国民議会の一院制。直接選挙制

ラオス 基本情報

ルアンパバーン

14世紀にラオス最初の王朝ランサーン王国の首都に定められて以来、1975年に革命によって王制が廃止されるまでラオ族の王家が住む王宮の所在地でした。町全体が世界遺産に登録され、今でも歴代の王たちが建造した多くの寺院が立ち並びます。大勢の僧侶たちによる托鉢の行列や活気のあるマーケットなど訪れる者を静かに魅了する町です。

ビエンチャン

ラオスの首都。メコン川沿いに位置し、ラオスでは最も大きな都市です。アジアと西欧の文化の融合の感じられる魅力的な場所です。樹木の立ち並ぶ大通り、フランス風の古い建物と仏教寺院とがビエンチャンの中心部の大半を占め、時の流れを感じさせないユニークな趣きを醸し出しています。

中村梧郎さんと行く ラオスの少数民族の村・解放記念日をハノイで過ごす

月日	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 4/24 (水)	東京・成田空港発 ハノイ着 ハノイ発 ルアンパバーン着	航空便 航空便	成田空港集合 (午前8時ごろ予定) ※関空発着ご希望の方は空路✈️経由地・ハノイへ 【所要時間: 約6時間00分 時差: 2時間もどる】 航空便を乗り継ぎラオス・ルアンパバーンへ 【所要時間: 約1時間10分】 夜: ホテル着 ルアンパバーン泊 朝× 昼○ 夕×
② 4/25 (木)	ホテル発	専用車	<終日: ルアンパバーン市内観光> *王宮博物館 *ワットマイ寺院 >>屋根が折り重なった「ルアンパバーン様式」の美しい寺院 *ワットシェントン寺院 >>ルアンパバーンを代表する最も格式高い寺院 *クワンシーとモン族の村見学 *プーシーの丘より夕日鑑賞 夕食後、ナイトマーケット散策 ルアンパバーン泊 朝○ 昼○ 夕○
③ 4/26 (金)	ルアンパバーン発 ヴィエンチャン着 ヴィエンチャン発 サムヌア着	専用車 航空便 航空便	*朝の托鉢(僧の修行の一つ)と朝市見学 空路✈️経由地・ヴィエンチャンへ【所要時間: 約40分】 航空便を乗り継ぎ、サムヌアへ【所要時間: 約1時間】 夕方: 中村梧郎さん講演会 サムヌア泊 朝○ 昼○ 夕○
④ 4/27 (土)	ホテル発 ビエンサイ着 サムヌア着	専用車	●ラオス北東部のビエンサイへ *ビエンサイ洞窟 >>ベトナム戦争中、パテト・ラオ(ラオス愛国戦線)の活動拠点であり、アメリカ軍の激しい空襲を受けた場所 *ビジターセンター、市内見学 再びサムヌアへ 午後: サムヌア市内散策 サムヌア泊 朝○ 昼○ 夕○
⑤ 4/28 (日)	サムヌア発 ヴィエンチャン着	専用車 航空便	*サムヌア朝市ローカルマーケット見学 *サムヌア市内散策 空路✈️首都ヴィエンチャンへ 夕方: ホテル着 ヴィエンチャン泊 朝○ 昼○ 夕○
⑥ 4/29 (月)	ヴィエンチャン発 ハノイ着	専用車 航空便	*市場散策(タラートサオ等) *コープビジターセンター >>ベトナム戦争による不発弾問題についての展示 昼食後、空港へ移動 空路✈️ベトナム・ハノイへ ハノイ泊 朝○ 昼○ 夕○
⑦ 4/30 (火)		専用車	<終日: ハノイ市内観光> *ホーチミン廟(外観) *ホアンキエム湖 *旧市街 *文廟・一柱寺・ハノイ大教会など 夕食後、空港へ移動 機中泊 朝× 昼× 夕×
⑧ 5/1 (水)	ハノイ発 東京・成田空港着	航空便	出国審査をして、空路✈️東京・成田空港へ 【所要時間: 約5時間15分】 到着後、解散 (空港到着: 午前7時~8時)

※現地の都合により、訪問順序・日時が入れ替わる場合がございます。
 ●旅程表のマーク: ○=食事付き、×=自由食、機=機内食 ●利用予定航空会社: ベトナム航空、ラオス国営航空、ラオ・スカイウェイなど ●機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。有料またはサービスが無くなった場合は各自でお取りいただきます ●利用予定ホテル: ルアンパバーン=マノラックホテル、サムヌア=ザイファスークホテル、ヴィエンチャン=ヴィエンチャンプラザホテル、ハノイ=バオソン インターナショナル ホテル または同等クラスのホテル

書籍紹介

『記者狙撃—ベトナム戦争とウクライナ』
 中村 梧郎著/2023年/花伝社 1,870円(本体 1,700円)

かつて、ベトナムの戦場で殺された日本人特派員がいた……
 盟友の死から戦場フォトグラファーが見つめ続けた、「侵略の構図」。
 1979年、戦後の疲弊したベトナムに中国が侵略した「中越戦争」。この戦争を糾弾し続けた『赤旗』特派員・高野功は、35歳で銃弾に散った。
 現場に居た日本人報道写真家が向き合い続けた、侵略戦争の本質とは?
 ベトナム戦争とウクライナ侵攻に共通する「帝国主義的侵略」に、現場の視点から迫る!

